

平成20年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	春の「丘の上循環チンチンバス」運行事業
事業主体 (連絡先)	南信州アルプスフォーラム
事業区分	
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,099,206円 (うち支援金:900,000円)

事業内容

飯田市の中心市街地(通称 丘の上)活性化のための一つの手段として、丘の上の魅力ある素材を有機的に結合し、利用者のニーズに答えるため、公共交通の側面も模索する実証実験を行う。そのためJR飯田駅を起点とし、市街地北側の住居地域を廻るAルート、市街地中心部の商業地と公共施設を廻るBルートに分け、今後の運営主体も考慮するためジャンボタクシー2便で時間的な乗り継ぎにも配慮しながら行う。



自己評価(事業実施率)【 A 】

事業効果

丘の上チンチンバスも本格運行のための実証実験が3回目となり、今回、平日を含めた期間で行ったにもかかわらず利用者が増加していることから、市民への知名度がかなり上がっていることがうかがえる。また、タクシー事業者に参加していただきジャンボタクシーによる運行にしたため、移動手段としての機能性も増した。地域住民・事業者・運行事業者・行政などの協働事業による新たな公共交通としての意識づけという点でも、利用者のみならず事業者にも深まったと思われる。

【目標・ねらい】

- 質の高い市民生活を実現する手段
- まちの賑わいや楽しさを創り出す手段
- 交通結節点としての飯田駅の有効性
- 基本コンテンツ改善
- 有料運行の可能性の検証

自己評価(目標達成率)【 B 】

今後の取り組み

今まで3回の実証実験をふまえ、今冬からの「丘の上循環バス」の運行が決定した。丘の上には可能性のある文化・施設・商店・人が点在しており、それらを循環バスにより有機的に結合し、さらに充実させ今以上に魅力あるエリアにしていく必要がある。そのため、この循環バスを住民・バス事業者・行政が三位一体となり、それぞれの立場を理解、尊重しながら常に『美しきまち 丘の上』を創造し模索し続けることが大切であり、我々もその一助となるべくまちづくり運動を展開していきたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。